



生徒一人ひとりの「未来を支え・拓く」キャリア教育

キーワード

「多文化共生」「地域連携」「学校連携」「多様な進路」「キャリア支援」

取組概要

外国につながる生徒と日本人生徒が共に学ぶ環境を生かし、地域・大学・NPOと連携したキャリア教育を実施。多様な進路希望に対応し、就職・進学双方に強みを持つ支援プログラムを展開している。

取組の詳細

*は主な取り組み

①学校全体でのキャリア教育推進 1年次からの段階的キャリア教育プログラムを実施し、自己理解・職業理解・社会理解を深める。特に外国人生徒について、担任・教科・日本語支援担当が連携し、学力・生活・進路の面から一体的に支援している。

*1・2年生で実施する「なかまづくり活動」

*R5から特別の教育課程を編成(「日本の言葉と文化」)

*R8から商業科目(鬼怒商業高校からの遠隔授業)を開講

進路ガイダンス

なかまづくり活動

②多様な進路への対応

外国につながる生徒を含め、一人ひとりの希望に沿った進路支援を展開している。

*全員参加のインターンシップ(2年)

インターンシップ

③キャリアガイダンス(全生徒) 企業や上級学校、卒業生や地域の社会人を招き、生徒が将来像を描きやすくするとともに、多様なロールモデルに触れられる機会を提供している。

④地域・大学・企業との連携(外国人生徒) 近隣大学やNPO、地元企業と協力し、課外活動や夏休みのフィールドワークを実施している。

基礎情報

結城第一高校は茨城県結城市に位置し、全校生徒約270名のうち約5割が外国につながる生徒である。半数以上が就職し、大学や専門学校への進学も多い。R4から外国人生徒支援の重点校となり、多文化共生を特色とした環境で、自分らしい進路を切り拓く力の育成を目指している。R7から、鬼怒商業高校との学校連携型キャンパス制を導入し、商業分野の学習や資格取得を可能にすることで、進路選択の幅を広げ、自立した進路決定力を育んでいる。

成果

- ・異文化理解と共生の雰囲気が校内に定着
- ・教員間の連携強化により、全校的な推進体制を整備
- ・就職内定率が高く、企業からの信頼を獲得
- ・日本語支援の充実により、進学実績も着実に伸長
- ・卒業生や地域人材を活用したガイダンスにより将来像を具体化

課題や今後に向けて

- ・外国につながる生徒への日本語支援体制の充実
- ・多様な進路希望に応じた支援体制の整備
- ・探究活動とキャリア形成の連動
- ・教員負担に配慮した持続可能な仕組みづくり

推薦教育委員会名：(茨城県教育委員会)